青葉台の「まちづくり委員会」の取り組み

まちづくり委員会委員長
田中　功夫

青葉台には１～８丁目とダイアパレス千葉青葉台町会の9町会があります。単独町会の独自性を維持しながら、9町会で共通の行事や取組む案件について、審議・実施をする「青葉台町会協議会」があります。「まちづくり委員会」は協議会の四つの常任委員会の一つです。

昨年度の成果は「避難行動要支援者制度」と「安心生活見守り支援制度」を一体化した「青葉台方式」で、簡易な仕組みを行政と粘り強く交渉し、多数の方に申請登録を実現した事です。

今年度の課題は二つあります。その一つは、上記の両制度を住民一人ひとりが、もっと身近に思うような、またこの制度を運用しやすいような仕組み作りに取り組んでいくことであります。現在問題点の洗い出しのために全町会にアンケートを実施し纏めています。

あと一つは、「青葉台の１０年後の目指す姿」を検討するプロジェクトの推進です。人口減少が進む中、青葉台の良き伝統を維持しつつ「自分の街は自分で創っていこう」との目的で、青葉台、家族、友人等に「感謝（サンキュー）」とメンバー数の「３９名」とのゴロ合わせで、「３９プロジェクト」と命名しました。本年9月に青葉台の全世帯約3,200世帯、青葉台小、姉崎東中、青葉台在住の姉崎高校の生徒等合わせて約300名にアンケートを実施。各種ボランティア団体やＮＰＯ、ＰＴＡ、生徒達とのインタビューを重ね、生の声を聴いています。これらを基に年度末までに、青葉台の１０年後の青写真を作り、次年度からはその実現に向けて進みたいと思います。


あおばだい文庫の読み聞かせ


青葉台小での小中高校コミュニティとのグループ討議




地区社協の出店


11月17日実施

姉崎門前市に姉崎地区社協の広報活動の一環として出店。
７５，２５０円の売上げがありました。
ご協力ありがとうございました。

アネッサ　インフォメーション

＜人事異動のお知らせ＞

前チームリーダー福岡の後任の甲賀貴久（ｺｳｶﾞ ﾀｶﾋｻ）です。趣味は読書とドライブです。長く社協におりますが、アネッサでの勤務は初めてですので、早く皆様に顔と名前を憶えていただけるよう頑張ってまいります。



編集後記

台風被害による心の傷が癒えぬ間に「キャッシュレス社会」を迎えました。直訳すると現金が少ないとなり、既に概ね達成していますが…失礼。

ホームレスやボーダーレスといった使い方ではなく、持ち歩く現金は少なくてすむ　との意味であって、消費増税に対し、軽減税率、５％還元などやこしいことが同時進行しています。

経済的に豊かになっても心の豊かさが少ないと言われる所以の一つのように思えてなりません。

ストレスの少ない「ストレスレス社会」を目指せないものでしょうか。諦めるのも立派な選択肢ですが、俗人には還元に未練が残ります。・・・

福祉バザーは台風の影響により中止となりました。
新たに歳末に向けての募金活動を行っていますので、ご協力お願いいたします。

ご寄付　ありがとうございました



上総吟游会様　５，０００円

姉崎地区（前年同期比）
世帯数　14,267　世帯（-12）
人　口　29,065　人（-283）
男　15,197　人（-173）
女　13,868　人（-110）
令和元年10月1日現在

そよ風

発　行
姉崎地区社会福祉協議会
事務局 姉崎保健福祉センター内
（アネッサ）
市原市椎津1131
TEL 0436(62)8601

千葉を直撃した台風に思う

姉崎地区社会福祉協議会会長　相川 敏子

度重なる台風によって被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

市内でも広範囲にわたる被害が発生し、あわせて大規模な停電、断水が続きました。この災害では、停電断水という経験したことのない災害にも見舞われ、大変不自由な生活を強いられた方が沢山いらっしゃいます。

災害支援は地域とのコミュニティワークの延長線上にあり、社協が持つネットワークをつなぎ、被災した住民の立場に立った支援活動を行ないます。更に、災害によって破壊された日々の暮らしや、つながりを再生し、長い期間にわたって住民に寄り添う支援をしていきます。

今回の台風の災害に対してまず行ったのは、
・高齢者の安否確認
・被災状況の確認

特に一人暮らしの高齢者や身体の不自由な方の健康状態や精神状態を確認し、体調管理や不安感の軽減に努めました。

今後の対策として、社協の平常時の活動を被災時にも役立てる取り組みにしていきたいと思います。そのためには社協の緊急体制及び役割分担を見直し、関係機関・団体との連携・協働について検討を重ねたいと思います。



好評な通いの場

スタートして２年近く、活発に活動されている通いの場を２件紹介します。次年度まで月一回から週一回の開催へと課題も多くありますが、全ての通いの場が継続できるように願いたいと思います。

姉崎台町会通いの場

「通いの場」は昨年5月より開始し、今年10月で18回目を迎えました。毎月第一火曜日の14時～16時の2時間を利用して、2種類の催し物を基本にして、運営しております。



①全員で声を出したり身体を動かして戴きます。
②地域包括支援センター等による、季節に対応した健康に関する勉強会を実施しています。
③娯楽関連では、大道芸・手品・茶道等を楽しみます。
参加者はスタッフを含めると30名程、時には40名となります。多くの方の参加をお待ちしております。
来年度以降の予定は、ただ今検討中です。



《利用者の声》
①月１回仲間と一緒に参加することを楽しみにしています。
②普段見ることができない沖縄舞踊等が楽しみです。
③体を動かしリフレッシュできて体操がとても良い。
等の意見がありました。

姉崎台町会　小野田 俊信

青葉台微笑みカフェ

私宅で開設の通いの場、現在毎回平均17名の方の参加があります。参加により市のポイントカードが増えるのも楽しみの一つです。



誕生会・花見・七夕・クリスマス等、季節ごとのイベントや、部外講師の健康のお話や血管年齢の測定など健康活動も企画しています。車椅子参加の対応も考えております。

時には、参加者が育てた野菜をその場で調理して皆でいただいたりと、和気あいあいの雰囲気です。皆さんが安心して通えるように、傷害保険にも加入していますので、皆さま是非一度お越し下さいませ。

場　所：市原市青葉台2-13-8 松葉宅
開催日：毎週水曜日 13時～16時
連絡先：080-5193-7697（松葉）　代表 松葉 愛子

イベントプログラム	第1週：茶話会・歌・体操 第2週：茶話会・歌・転倒防止体操 第3週：茶話会・歌・誕生日会・体操 第4週：茶話会・歌・血圧測定等

《利用者の声》①ボケ防止になる。②この場所で悩み事が云える。③いろんな話ができ、爽やかに、楽しくなる。④元気を頂いています。等の声があります。

校庭に 花が お米が ホタルが


畝づくり 草刈り


田植え

青葉台小小域福祉ネットワーク「フラワー会」　中谷 勝敏

この活動は、青葉台小学校区小域福祉ネットワーク活動として行っており、現在会員は37名、原則、毎月第二月曜日、約2時間の活動が基本です。内容は

①花の育苗からの花壇づくり・各学年の畑づくりの支援
②校内の除草・木の伐採・環境の整備
③ビオトープの管理・整備
④５年生の稲作授業の準備・指導・田植え・生育管理・稲刈り・脱穀・ 籾摺り
⑤梅ジュース作り指導
⑥ホタルの飛翔活動等を行っています。

活動の背景は、
(1)生徒数が減り、先生の人数も減っていますが、学校の面積は変わらず、また行事も過去と同じである為、先生方は超多忙である。
(2)先生方に集中して教育していただくために環境を整える支援が必要です。
(3)学校内の環境は、子ども達の成長に大きく影響を与える。また父兄は共稼ぎで時間的な余裕がない為、私達高齢者が主役です。


ホタル幼虫の放流

今では整備された校庭に四季の花が咲き、子ども達がお米づくりの体験をし、初夏の夜にはホタルが飛ぶような学校になっています。
最後に、学校からのご褒美として、各行事への参加案内や、お米を食べる会で美味しいカレーライスを頂いています。

任期満了による改選 姉崎地区　民生委員・児童委員

NO	氏　名	担 当 区 域	前 任 者
1	田丸　貞子	椎津新田	
2	田巻　正史	椎津台	
3	青木　孝予	椎津仲町、椎津南町	中沢　一枝
4	太田　俊章	椎津下田、城山	田丸　浩
5	宇田川富美子	駒ヶ崎、川田	
6	安藤　敏子	新町	
7	飯田　敏雄	仲町	猪狩久仁男
8	川上　孝江	本町	
9	藤城　睦江	新宿	藤田　知嗣
10	鳥飼　洋子	養老町	
11	住川　剛	砂子	長田　けい
12	大山加代子	富士見第３	
13	窪園　和子	富士見第２	
14	鈴川美智代	富士見第１	三宅　邦子
15	横山　源一	畑木	佐藤　繁
16	桐谷　徹	山新(前新田,中新田一部)	
17	石井　英之	山新(中新田一部,山谷)	
18	鈴木　正夫	山新南町	
19	切替みどり	姉崎台宮下、姉崎住宅	
20	相川　敏子	姉崎台台下一部	
21	佐久間勝之	姉崎台台上	刈米　義文
22	小野田俊信	台下一部、台下第一	
23	福本百合子	ダイアパレス	
24	中野久美子	青葉台８丁目	
25	小林　泰生	青葉台７丁目	
26	大野　治枝	青葉台７丁目	
27	桑原　秀明	青葉台６丁目	
28	小倉　春男	青葉台５丁目	
29	山本　芳夫	青葉台４丁目	
30	岩本　哲雄	青葉台３丁目	
31	岩崎　順子	青葉台３丁目	
32	松葉　愛子	青葉台２丁目	
33	藤田由利子	青葉台１丁目	伊坂　寿子
34	小出　信幸	内出	潤間　政吉
35	小関　勇次	宿	石井　晃
36	阿部　泰雄	三ヶ郷	
37	鮎川　広一	柏原	鮎川　典雄
38	和田　修一	白塚	
39	山田千鶴子	白塚市営住宅	藤城　榮子
40	鶫山　孝代	千種１・２丁目	中村　勤
41	青木　律子	千種３・４丁目	
42	齋藤　浩子	主任児童委員	
43	田丸　惠子	主任児童委員	
44	野崎　久恵	主任児童委員	

３年に一度の民生委員児童委員の一斉改選に伴い、12月から新しいメンバーでスタートしました。今後ともよろしくお願い致します。退任された14名の方々、本当にお疲れ様でした。青字で記載された方々が新任です。

想像を超える台風に学ぶ!!

姉崎小小域福祉ネットワーク　田丸 浩

【恐怖の風速５０ｍ】
台風15号の恐怖からまだ冷めやまぬ9月18日（水）、当ネットワークの「高齢者交流サロン」で参加者36名により今回の台風を体験し、その際の対応、感想、要望、問題点等について４グループに分かれて以下のテーマについて話し合いを実施しました。

① 台風に備えての準備は十分だったか？
② 台風の後、一番困ったことは？
③ 地域や行政への要望？

参加者全員が真剣に恐怖と今後の課題を話し合いました。参加者はたまたま今回の一番問題となった長期の停電を経験した人は少なく、“まさか千葉にこんな大きな台風が来るとは思わず、油断があった！”と反省し、今後に備えての心構えが出来たのではないかと思われる。
また、情報不足が不安を大きくする一番の要因であることがわかり、地域・町会内の身近な情報、行政からの情報の充実が一層望まれている。
気候の変動で今後も更に大きな自然災害が予測される中、私たち一人ひとりの心構え・準備と、地域・行政からの展開が望まれる。



困ったときには お気軽に ご相談を

地域包括支援センター「しおみ」

「市原市地域包括支援センターしおみ」は市原市の委託を受け、平成31年4月1日に新設されました。担当圏域は姉崎地区と五井西地区です。高齢者を中心とした地域住民の総合相談窓口となっております。



潮見通り沿い

相談内容は介護保険制度の説明や、介護予防に留まらず権利擁護や生活困窮等様々です。また、地域の関係機関との支援ネットワーク作り及び介護予防の取り組み普及・啓発のために定期的な会議開催や、町内会や自治会館、公民館等への出張講座を実施しております。在宅で介護されている方を対象とした介護教室の開催も行っております。



高齢化が進む中で、高齢者やその周りの方が抱える悩みも多様になっていると思います。少しでも気掛かりなことがございましたら、お気軽にご相談ください。新設「しおみ」はアピタに面した潮見通り沿いです。

所在地:市原市青柳524-1　連絡先:0436-26-5151

■メンバー紹介

管理者	:猪股 理寛
主任介護支援専門員	:伊場 正和
保健師	:池田 裕子
社会福祉士	:稲毛 大輔・石川 翔子
介護支援専門員	:高澤 菜央美
事務員	:丹 聡美

以上のスタッフが、高齢者が安心して生活できる地域作りのお手伝いをいたします。



市と協働で防災モデル地区活動



（明神小学校区）策定委員会代表　小泉 豊

市原市は県内最大の広域都市であり、それぞれの地域に対応した防災・減災対策が必要です。そこで今年度モデル地区として

① 臨海部コンビナート地域
② 住宅市街地
③ 山間部

の各々から計3ヶ所選定されました。
臨海部として「明神小学校区」が選ばれ、市原市危機管理課と共に地区防災計画を策定します。該当地区は姉崎台・山新・山新南町・台下第一・姉崎住宅・富士見第１・富士見第２・富士見第３の８町会です。
この「地区防災計画」策定には、地域住民による自発的な防災活動を推進するため、災害発生時の身近な危険が何か、減災をする為にはどうするかを中心に、地域の力を結集する事を目的としています。
災害による停電・避難所・物資支援配給・安否確認等様々な問題が提起されます。避難時、経路又収容人数等を考慮すれば在宅避難を核として考えるべきであります。
現在地区住民とワークショップ等を行なっており、「地区防災計画」を策定中で、12月1日に開催した明神小学校区小域福祉ＮＷ主催の避難訓練時に概要を発表しました。
なお今後としては、防災訓練等により実地検証し、地区住民の意識の普及啓発を促進し、随時見直しをしていきます。


みんなで作る「地区防災計画」

研修会「薬物乱用の恐怖について」

《更生保護女性会会長　　本多みつ子》

戦災孤児に手を差しのべようと発足した更生保護女性会の歴史は７０年になります。女性として、母親としての立場から平和な生活を守るために、地域から犯罪者や非行少年を出さないと同時に、明るい社会を作ろうとするボランティア団体です。



姉崎支部では市原学園や交通刑務所での様々な行事への参加、日用品の提供、重度の障害者施設へのボランティア活動などをしています。一昨年より『茶話会』を担当し、月に一度、会員の皆様と楽しいひと時を過ごしています。また、「明るい社会づくり」の一環として年に一度、ミニ集会を実施しています。
今年は１０月８日（火）に千葉県警察内房地区少年センターの方にお願いし、市内の小・中・高等学校で実施されている『薬物乱用防止教室』を展開していただきました。
たった一度でも乱用であり犯罪であること、心も体も家庭をも破壊してしまう恐ろしさが映像を交えて伝わってきました。『ダメ！　ゼッタイ』、『違法薬物、持たない！　買わない！　使わない！』、ネット社会の恐ろしさとあわせて、地域や大人はよき相談相手となり、青少年を犯罪から守って欲しいと話されました。
たくさんの方々のご参加ありがとうございました。